

報道関係各位

2017年3月21日

『第5回 大東建託 賃貸住宅コンペ』最優秀賞が決定！ 最優秀賞:「贅沢になる部屋」(松田勇輝氏・平川慧亮氏)

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、この度『第5回 大東建託 賃貸住宅コンペ』を開催し、各受賞者を決定しましたのでお知らせします。

■『進化する賃貸住宅』

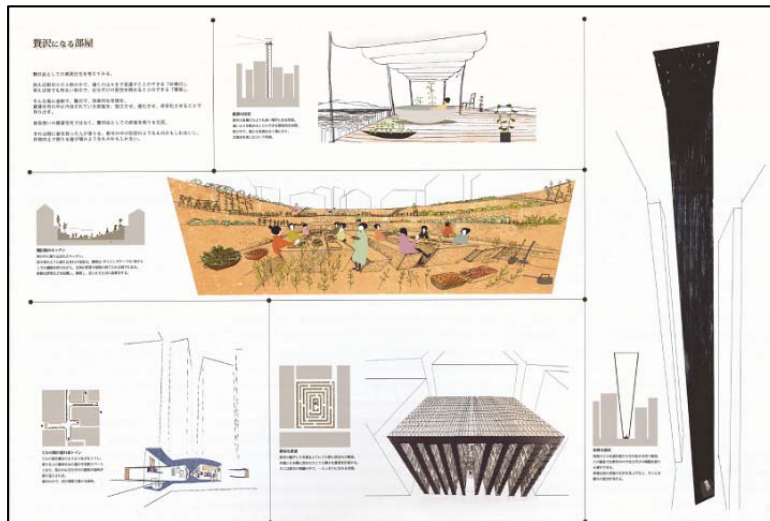
第5回のテーマは、「進化する賃貸住宅」です。本コンペは、これまで様々な切り口から「新たな賃貸住宅」のかたちを模索してきましたが、今回はさらに考えを発展させた課題を設定しました。これからの賃貸住宅がどのような進化を遂げるのか、まだ見ぬ未来の賃貸住宅の「進化」についての明確な提案を期待した課題です。

開催から5回目の今回は321点(応募登録717件)もの応募がありました。そして1月17日に実施した1次審査では1次審査通過作品6点と入選5点、学生特別賞5点、選外佳作6点が選出されました。2月18日の公開2次審査では、最優秀候補6組のプレゼンテーションと公開審査を行い、最優秀賞・優秀賞・特別賞を決定しました。

■審査結果

- 最優秀賞1点 (賞金300万円)

「贅沢になる部屋」 松田勇輝 平川慧亮(東畑建築事務所)



【最優秀賞作品の提案資料】



【プレゼンテーションの様子】

【作品概要】

賃貸住宅を「贅沢品」に進化させた時、本作品は誕生しました。例えば、ビル郡の中にいながら遠くの山まで見通すことができる「浴室」だけの部屋、街中で自分だけの星空を眺めることができる「寝室」など、今まで住宅に内包されていた部屋を独立・進化させた新しい賃貸住宅の提案です。普段使いの賃貸住宅ではなく、贅沢品として部屋を借りるという生活が今後は誕生するのではないか、という発想が元になっています。

本作品のような「贅沢品として進化した賃貸住宅」は、既に家を持った人が借りるだけでなく、今後は都市の中の別荘として、あるいは仲間同士での遊び場として使用するような空間となりうるかもしれません。

●優秀賞2点（賞金各 100 万円）

・「賃貸細胞進化論」

和田徹 (Atelier Toru Wada)

・「YUTO-RI(ユートピア+里)」

山口琢磨 (フリーランス)

●特別賞3点（賞金各50 万円）

・「遺伝する暮らし」

高橋大樹(熊谷組) 進藤正人(清水建設)

・「積み重なる、それぞれの記念碑」

大村公亮(信州大学大学院)

・「町の時日を借りて栖む」

ラ ショウテン 羅嘯天(東京大学大学院) ショウ シーチー 邵子芝(華南理工大学)

入選作品は、新建築社のホームページ上で公開。雑誌「新建築」2017年4月号でも発表されます。
また、建築倉庫※での展示も予定しています。

※建築倉庫とは、2016年6月に天王洲アイルにオープンした建築模型に特化した国内初の展示施設です。

■小泉審査委員長による総評

一次審査と今回のプレゼンテーション及び模型製作を含めた審査では、作品に対する印象や評価が大きく変わりました。テーマであった「進化する賃貸住宅」は、審査員である僕らも想像するのが難しいものでしたが、そういった中で「進化」することを前向きにとらえられたかどうか、今回のコンペでは重要な要素だったと考えています。6組の方々にプレゼンテーションしていただきましたが、それぞれ違った方向性で「進化する賃貸住宅」を提案いただきました。非常によい議論の場を与えてくださった皆さんに感謝します。

■審査委員(敬称略)

審査委員長	小泉 雅生 建築家 首都大学東京教授
審査委員	五十嵐 淳 建築家 五十嵐淳建築設計事務所代表
	鍋島 千恵 建築家 TNA共同主宰
	小林 克満 大東建託株式会社常務取締役



< 本件に関するお問い合わせ >
大東建託株式会社 経営企画室 畑中・和賀
TEL:03-6718-9174